

2015年篠山ホッケー10大ニュース

篠山市ホッケー協会では、年末にあたり、「2015年篠山ホッケー10大ニュース」を下記のとおり選定しました。なお、個々の話題は、それぞれに大切であり、比較すべきものではないとの観点から順位づけはありません。

兵庫県ホッケー協会の事務局機能が篠山市に移転

2月、兵庫県ホッケー協会は神戸市に設置してきた事務局機能を篠山市に移転。運営拠点が篠山市に移ることにより、選手や指導者の養成、大規模な競技会誘致など今後さらなるホッケーの振興が期待されます。

篠山ジュニアホッケークラブがスポーツ少年団登録

4月、篠山市体育協会に篠山市スポーツ少年団組織が新設されたことを受け、篠山ジュニアホッケークラブがスポーツ少年団へ新規登録。平成12年のホッケークラブ設立後、念願の全国大会出場資格を取得しました。

SASAYAMA2020 ホッケー教室やイベントが続々開催

篠山市教育委員会が東京オリンピックに向けたスポーツ振興事業として「SASAYAMA2020」を展開。ホッケー教室や大会など各種の事業が実施され、ホッケー協会も市民のスポーツ機会創出を支援しました。

指導者養成講習会を連続開催

1、6、10、12月の4回にわたり、指導者養成講習会を開催。小中学チームの指導者や保護者らが受講。日本代表やベルギーU-16代表コーチとして活躍した飛田尚彦氏を講師に迎え、ホッケーへの理解を深めました。

元オーストラリア代表ルーク・ドナー選手のスクール開催

7月21～23日、元オーストラリア代表で北京五輪銅メダリストのルーク・ドナー選手を招き、ホッケースクールを開催。篠山の小中学生ら延べ230人が受講。世界屈指のドラッグフリックシュートは参加者を魅了しました。

篠山・丹南・今田中学校ホッケー部男子、4年ぶり全国大会出場

8月4～5日、篠山・丹南・今田中学校ホッケー部男子が近畿総体で5位となり、8月15～17日に新潟県で開催される全国大会への出場切符を獲得。篠山市の中学ホッケー部の全国出場は4年ぶりでした。

篠山ジュニアホッケークラブ男子、全国大会準優勝！

8月7～10日、熊本県で開催された全国スポーツ少年団ホッケー交流大会において篠山ジュニアホッケークラブ男子が初出場で準優勝。決勝は川口スポ少(岩手県)に延長戦で惜敗したものの、全国に名を轟かせました。

インターハイ開催 篠山市出身の山田真緒選手が躍動！

8月1～2日、スポーツセンターにおいてインターハイを開催。篠山市出身の山田真緒選手(須知高校)が地元の大声援を受け、初戦を大逆転勝利。運営には篠山市協会の役員も多く関わり、感動の大会を支えました。

篠山ブラックビーンズが西日本社会人リーグ2部初優勝

篠山ブラックビーンズが西日本社会人リーグ2部で初優勝。平成15年度の社会人リーグ参戦以降、最上位となる順位でシーズンを終えました。1部リーグとの入替戦は天龍(岐阜県)に惜敗。1部昇格はなりませんでした。

ささやまカップ 篠山ジュニアホッケークラブが初のアベック優勝

10月25日、第13回を迎えた篠山市ホッケー協会長杯(ささやまカップ)の小学男子の部・小学女子の部において、篠山ジュニアホッケークラブがアベック優勝。篠山勢の男女同時優勝は大会史上初。

※本件は、篠山市ホッケー協会事務局がホッケーの普及や話題づくり等を目的に任意に選定したものです。上記に記載のない日々の取り組みや話題も同様に大切なものですので、趣旨をご理解の上、あたたかくお目通しいただければ幸いです。